



「ありたい未来」を描き、
協働で
地域課題を解決する

2023新春特別例会
北海道下川町町長 谷一之氏



2023新春特別例会

「ありがたい未来を描き、 協働で地域課題を解決する」

北海道下川町町長 谷一之氏を迎えて 講演会開催



下川町 町長 谷一之氏

1月23日（月）アートホテル盛岡で、2023新春特別例会が開催されました。6年前にもお越しいただいた北海道下川町長 谷一之氏を再びお招きし、「人が輝き、まちが輝く」SDGs未来都市しもかわ」なぜ、住む人がみんな楽しそうなのかをテーマにお話いただきました。当日は同じくSDGs未来都市に選ばれている岩手町から

佐々木光司町長にも来賓として駆けつけて戴き、中小企業と行政がともに地域課題解決に向け、グループ討論を交え、一日かけて未来展望を語り合いました。

谷一之氏は下川町の民間企業で、社長・会長として地域を牽引しながら、下川町議会議員を5期務め、2015年4月の町長選で初当選。これまで過疎率が全道1位、全国4位という、大変疲弊した状況だった下川町を多様な人材、多様化する生き方を受け入れ、地域内にお金を生み出し、能力や情熱のある住民を発掘する仕組みを官民協働で実現してきました。今年3月には退任される谷町長ですが、今や人口約3千人の下川町が、世界に羽ばたく魅力ある町として全国から移住が止まらない町になった背景について、8年間の取り組みをすべてご披露戴きました。



なかでも印象に残ったのは、持続可能な地域づくりのためには、どんな環境においても持続発展可能な中小企業が地域になくてはならない、との提起でした。民間と行政が連携し同じ目的をもって進むことができた背景には、そうした「ありがたい姿（ビジョン）」を掲げ、地域で共有することが最も重要と話します。まさに企業の実践そのものとも言える挑戦に、同様に人口減、少子高齢化の波が一気に迫る岩手の私たちにとっての、大きな励ましとなった講演でした。（講演内容の詳細は後日掲載予定です）



12月23日（金）新しくオープンしたばかりの葛巻町役場の会議室をお借りし、葛巻町町長 鈴木重男氏に講演いただきました。またその後は新庁舎を隔々までご案内いただき、3年以上かけて構想を練り実現した想いをお聞きしました。

農業食糧生産部会・ 県北支部共催12月例会

人をつなぎ、地域をつなぎ、 未来（あす）へつなぐ

葛巻町新庁舎見学会

会の農業食糧生産部会の立ち上げにも尽力戴き、初代会長として長く牽引いただきました。今回の講演でも、鈴木氏が当時から掲げてきた「夢が実現するものはない」をテーマに、どのように未来を描き、着実に実現してきたのか、お話をいただきました。

葛巻町新庁舎「くずまーる」は昨年10月に完成、実に構想から約3年、建設に約2年、総事業費約38億円という壮大なプロジェクトで実現しました。葛巻病院に隣接、今後は庁舎隣に老人ホーム、消防分署も建設予定で、庁舎内には商工会、金融機関なども今後併設予定です。まさにコンパクトシティの視点を取り入れた、町の機能をすべて集約した、情報発信の拠点として大きな期待が寄せられています。

「なごなご風へ」から 「Isone風へ」の町

鈴木氏は、就任前から人口が急激に減少する中でも「ミルクもワインもクリーンエネルギーもある町くずまき」を掲げ、ないない尽くしの町からあるある尽くしの町に、とビジョンを掲げ続けて来ました。

なかでも最も力を入れてきたのは人材育成です。移住者には家屋を準備、子どもが生まれる度に補助を受けられる制度を設け、教育のために就学費用を支援、修学旅行の費用を負担、更に高校生までの

医療費は無料など、町の制度を生かし子育てがしやすい環境を実現してきました。

また小学生になると全員にバイオリンを支給、タブレットも一人一台支給。子どもたち全員がバイオリンを弾ける町という、文化度が高くITに強い人材が育つ場づくりをしてきました。

また山村留学を積極的に奨励し、全国から生徒を募集、東京から学習塾の講師を招き入れ公営学習塾を年間を通じて開設、無料で受講できる体制をつくり、県内の高校の中でも葛巻高校の進学率が格段に上がっています。

こうした施策の先にあったのが、「夢しか実現するものはない」に掲げた想いでした。現在では食糧自給率は200%以上、エネルギー自給率は300%以上を実現、今回の多額の事業費をかけた新庁舎の具現化もこうした長年の取り組みの成果です。

一緒に苦労し、時に夜な夜な語り合いながら地域の未来を語り合ってきた同士。地域を牽引する同じ「経営者」として、地域への思いをあらためてともに確認した有意義な時間となりました。



新庁舎外観



コンサートもできるホールも併設



“ワイン色”に統一したカラー



地元の木材をふんだんに生かした議事室



各支部・地区・委員会 「ぼつと」通信

県央支部

新会員オリエンテーション開催

1月17日（火）オガール小スタジオに於いて県央支部第2回新会員オリエンテーションが開催されました。今回のオリエンテーションは昨年12月に入会された(株)スタジオ東日本 代表取締役 高橋俊朗氏を県央支部の幹事の皆さん



とお迎えしました。

新しい仲間が増えることは 学べる環境も増える

最初に県央支部長の瀬川氏より「ようこそ同友会にご入会いただきまして歓迎いたします。この同友会は色々な業種の方たちが集まり、それぞれ「よい会社」「よい経営者」「よい経営環境」になるために日々切磋琢磨しながら学んでいます。新しい仲間が増えるということは、また私たちにとつても、また一つ学べる環境が増えるということにもなります。入会された高橋さん、ぜひ一緒に頑張っていきたいと思います。」と挨拶されました。

本音で語れる 仲間の大切さを実感

その後参加された、県央支部の幹事の方々から同友会に入会してのミニ体験報告をしていただきました。花北・遠

野地区のSS建築デザイン室(株) 代表取締役 佐々木江美氏からは「母親が社長の時代、次に自分が会社を後継することとはわかっていきましたが、自分が社長になり会社がどんな方向で展開していくのかわからず悩んでいました。ある講演会で同友会から欧州視察に行き、中小企業が考えるエネルギーシフト(ヴェンデ)についての話や、地域と共に歩んでいくことが大切であるという話を聞きもつとこの会で学びたいと思い、自ら手を挙げて入会しました。入会后、欧州視察参加や経営指針実践塾にも積極的に参加し、経営指針を創り自社の方向性を確立することができました。まだまだ学ばなければならぬ事はたくさんありますが、何より本音で語れる仲間に出会えてよかったです」と報告されました。

新会員として入会された、高橋氏からは「自分もこれまで、色々と勉強してきましたが、改めて今回参加の皆さんからの体験報告を聞き、自分はまだまだだなあと感じました。今後は会社の理念をしっかりつくり皆さんと一緒に学んでいきたいと思えます。」と感想をいただきました。

盛岡支部・経営労働委員会

共催経営指針特別例会 「第17期経営指針実践塾へ向けて」



川村氏

工藤氏

の成文化からこれまで、うまくいったこと、うまくいかなかったことなどをテーマに話していただきました。

社員が夢と希望を抱ける 会社づくりのために

2013年に創業した盛高商店は、古本の買い取りなどのリサイクル業を行っていま

2月8日（水）盛岡市中央公民館で、盛岡支部・経営労働委員会共催特別例会が行われました。第17期人を生かす経営・経営指針実践塾が4月からスタートをします。そこで今回は第16期経営指針実践塾を受講した、(株)盛高商店 代表取締役 工藤尚氏と杜陵テクノ(株) 代表取締役 川村武司氏(経営労働委員長)のお二人から、「自社の経営課題に向き合って」経営指針



す。創業のきっかけは前職で経営者と接し、成し遂げたいことを自分の力で切り開いている生き方にあこがれをもっていたのが始まりでした。

しかし、想いを実現したものの経営の勉強をしてこなかったため、社員が増えてきても社内の体制も整わず社員からはいつも不安と不満ばかり。この状況を変えたいと昨年「第16期経営指針実践塾」を受講します。そこで自分は一リユース業を稼ぐ手段としてしか考えていなかったことに気づかされます。これを機に、幹部会議・部門毎の数字の把握・職務掌握・賃金テーブルの検討などを実践。次第に社員も変化してきたと思っていた矢先に退職者。「うまくいき始めている」と勘違いしていた自分にまた気づかされます。壁にぶつかりながらも、社員が未来に夢と希望を抱ける会社づくりに向け取り組み続けています。

社内改革で安心して働ける会社づくりを

杜陵テクノは、父親でもあ

る先代の社長が他界したのを機に2009年取締役社長に就任しました。しかし、就任の翌年売り上げが半減。東日本大震災もあり伸び悩み続けている中、2012年に代表取締役になりませんが、自分の想いや会社が目ざすものがなく先代がやってきたことをそのままやり続けていました。そのため、うまく行かないことを他人のせいにしていた自分がいました。次第に「このままで社員が会社を好きになつてくれるのか。私たちが実現したいものは一体何か。」転機になったのが、2015年第11期経営指針を創る会を受講したことでした。

「人を育てて初めて戦略が立てられる」「18歳の新入社員が定年まで安心して働ける会社をどうつくるのか」先輩経営者の言葉一つひとつが胸に突き刺さります。

まず行動に移したことが、地域にお客様になる方がどれくらいいるのか歩いて調査をしました。これがのちに戦略として生きて来ます。その後時間もかけて社内改革に取



り組んできました。4年前には女性社員も入社。「いわて子育てにやさしい企業等」の認証も取得。「今年は労働環境を整え、経営指針を全社一丸で実践できるようにしていきたい。」実践で会社が変わってきた川村氏の報告でした。例会終了後、第17期人生かす経営・経営指針実践塾の受講生候補として参加したゲストを含め3名が確定。2名の体験報告に気持ちの変化を起こした例会となりました。

気仙支部・宮古地域連続例会 青年部、地域を越えた協力で新たな 地区づくりへ 若手が本音で経営指針の実践を発信！

宮古地域の連続例会が今、元気です。昨年7月から毎月続けてきた宮古地域の連続例会も7回目を迎えました。

東日本大震災前は、宮古支部として地域に密着した例会を開催、毎月ゲストを迎え賑やかに行ってきましたが、震災後は復興に全力のなかで支部活動を休止していました。

そんな中、青年部会を中心に気仙支部や県央支部が協力し、宮古地域で活動が再開されました。毎月盛岡や紫波、大船渡、陸前高田から報告者が手弁当で訪れ、地元の会員を盛り立てて来ました。

1月例会では、青年部会長の吉田巧氏（岩手日化サービズ(株) 代表取締役）、2月には(有)小川原自動車钣金 専務取締役 小川原航氏が、ご自身の経営指針成文化時の体験と、社内でのどんな取り組みを進めてきたか、赤裸々にお話





戴きました。

小川原氏は、これまでなかった新規のお客様が、ホームページの展開とDXの広報戦略で大きく増加していることや、分析によって成熟産業と想っていた自社の鍍金事業が実は新たな需要を喚起できることがわかり、自信を持って展開していこうと、社内で

も活気が漲ってきたことなど、具体的な実践について、細やかに話し戴きました。

愚直に実践を続けること

まだ例会への参加者は10人ほどと少人数ながら、グループ討論の内容は毎回新鮮な話題ばかりです。「もつと自信を持っていい。エネルギーのある若い時にしかできないこと。どんどん広げるべき」と初めて来た参加者が、報告者の小川原氏に声をかけると、「同時進行で、より高い生産性のある付加価値の高い事業アイデアを」など、会場は参加者全員での意見交換会に早変わり。こうした熱気が毎回参加者の数を増やしていきます。

宮古・山田地域から4月開講の第17期経営指針実践塾への受講生も生まれ、益々宮古地域での活動への期待が高まっています。



人間が人間らしく成長するためには、認め合い、励まし合うこと

幹部社員共育講座・同友会大学特別公開講座

12月15日(木) ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングを会場に、経営者・幹部社員18名が参加し「幹部共育講座最終講・同友会大学特別公開講座」が行われました。講師には神戸大学名誉教授 二宮厚美氏をお招きし、幹部社員と経営者が一日かけてじっくりと「中小企業における

リーダーの役割」について考え合い、学び合いました。

岩手同友会ではこれまでも幹部社員が体系的に学ぶことができる講座を年間を通じてつくってきましたが、生きがい・やりがい・働きがいについて時間をかけて学び合う講座は久しぶりの開催です。

下村善勝社員共育委員長(株)エムデイワン まごころみるく 代表取締役)は冒頭の挨拶で、「こうして経営者と幹部社員が自分の人生と働くこと、生きることに真剣に考え、共に未来を語り合える場所は他にはありません。ぜひ大切な一日にしてほしい」と話し、講義が始まりました。

共感・応答のコミュニケーショントラックを築くこと

二宮氏は日本における伝統的リーダー像として「やって

みせ、言ってみせて聞かせてさせてみて、褒めてやらねば人は育たず」とあるが皆さんはどう思うか、との問いかけからスタートしました。

そして「人間は持っている力を使うことで成長します。自分の目標やテーマをどの位持っているのか。そしてそれを明確に伝えられるのか。伝えるためには相手とのコミュニケーションを取ることで大事になってきます。協力して働く(協働)には、お互いがコミュニケーションを取り共通の目的、協働の関係を築くことが重要です。リーダーの理想的な姿として、まず自分が先頭になり手本になりやってみせる(やってみせ)言葉で言ってみせる(言ってみせ)、やらせてみる(させてみる)、自信を持ってやってみる)ことに対して褒める(褒めてやらねば)、褒めることをしなければ育たない(人は育たず)。経験主義に陥らず他人の力、他人の努力を享受し常に学び人間関係の中で生きる力を発展させる。人間が人間らしく成長するためには、

認め合い、励まし合うことが大切では」との提起がありました。



二宮氏が最も迫力を持って伝えたのは、ご自身の体験談でした。この数年大病を患われて、講演活動ももう難しいかな、と思っていた時期に、お孫さんにかけられた言葉で、もう一度教壇に立とうと決意され、それがあったからこそこうして今、岩手で一日講演をできる体力を付けることができた、というものでした。どんなに年齢が離れていようと、認め合い、励まし合うことで人は立ち上がることができる、という実話に、受講生の表情にも大きな変化がありました。

参加した幹部社員からは「一番大事なことは信頼だと感じた。信頼してもらえれば制づくりをしていきたい」「褒めることの難しさを痛感した。個々の良い点を意識的にさがすように心がけたい」「内容が興味深いものばかりであつという間に過ぎた感じでした」などの感想がありました。対面での1日講座でしたが、立場が違う中でじっくり自分と向き合う時間となりました。

青年部

新事業創出ワークショップ開催

1月20日（金）同友会事務局3F会議室にて青年部会第1回未来展望の見える社会を創るためのワークショップが開催されました。この学習会は「未来に向けて新しい事業を創出しよう!!」というテーマで青年部の部会員中心に約15名が参加して学びました。

社会課題解決の視点から考える

このワークショップの学習内容は、社会課題解決の視点をもとに、自社の事業の強みを



生かした新事業のアイデア出しや、新事業創出のためのシート作成など、経営指針を作成した方は具体的な取り組みになります。またこれから経営指針を作成したいと思ってもどこから手を付ければいいのかわからないという疑問への大きなヒントになります。

想像力、発想力を磨いていくことが新事業につながる

参加した方々は5つのテーブルに分かれ1テーブル3名が講師の説明のもとにカードを使いながら、それぞれ自分たちで業種を決めてゲームを進めます。参加チームごとで互いに意見を出し合い、新たなアイデアがこれからの仕事に向けて取り組める重要なきっかけづくりになりました。参加された青年部の皆さんからは、「ゲームを通して、いかに自分の考えの狭さや、想像力や発想力が乏しいということを痛感した。新しい新事



業を生み出したくてもこれでは、いいアイデアは浮かばない。もっと自社に置き換え社員の意見を聴き巻き込みながらやっていくことが大事だと思った。次回もぜひ参加したいと思います。」「今回はカードを使って架空の会社の設定で取り組みましたが、このゲームのシミュレーションのとおりに進めていけば自社でも新しい事業を生み出す事ができると感じました。」という感想がありました。若さと熱気に包まれた学習会は時間を忘れるくらい盛り上がりました。今後、2回目を4月に1日講座として開催いたします。ぜひご参加をお待ちしております。

気仙支部

こんなに本音で経営を語れる場所はない！
 新会員・ゲストで賑わう一本松ホール

2月16日(木)陸前高田市
 の一本松ホールで、気仙支部
 2月例会が開催されました。
 当日は山田町からの新会員、
 入会したばかりの後継者、市
 役所の職員など16名が参加。
 「経営指針にもとづく全社一
 丸の企業づくりをめざし
 て」社員一人ひとりが働き
 やすい環境づくり、力を発揮
 しやすい仕組みづくりを
 テーマに、杜陵テクノ株式会



社 代表取締役 川村武司氏
 の報告から、じっくりとグ
 ループ討論で学び合いました。
 まだ入会したばかりの方
 は、「自社のことをこんなに
 も本音で語り合える場所はな
 かった。グループ討論で自分
 の課題を話せば、必ず自分の
 体験談を語ってくれる。生か
 さない手はない」「笑いのな
 かにも真剣な議論があり、
 あつという間の時間だった」
 など、震災前の気仙の雰囲気
 そのものが戻ってきたような
 活気溢れる例会となりました。

沿岸の道路網が整備され、
 宮古から陸前高田まで1時間
 強でつながり、縦軸の地域連
 携も広がっています。「こ
 れまでは遠いと思っていた場
 所を互いに行き来できる。三
 陸とか、リアスとか新たな
 キーワードでつながりそう」
 毎月の例会を重ねるごとに、
 沿岸連携の期待は高まってい
 ます。

新 会 員 紹 介

新しく入会された皆さんです！

支部地区	気仙支部	
氏名	橋詰 智早子	
企業名	(有)橋勝商店	
役職名	専務取締役	
住所	陸前高田市高田町 字館の沖 303-6	
T E L	0192-47-5255	
F A X	0192-47-5266	
事業概要	惣菜製造・飲食業	

支部地区	県央支部 花北遠野地区	
氏名	高橋 俊朗	
企業名	(株)スタジオ東日本	
役職名	代表取締役	
住所	花巻市中北万丁目 648-2	
T E L	0198-22-1560	
F A X	0198-22-5678	
事業概要	サイン(看板)デザイン、各種販促物の企画制作など、 広告関連業務を中心にデジタルに強い媒体作り	

支部地区	盛岡支部 第2地区	
氏名	佐々木 松次	
企業名	(株)トータルサポート唯一	
役職名	代表取締役	
住所	盛岡市上堂1丁目 16-48	
T E L	0120-14-3741	
F A X	019-641-8209	
事業概要	家財・空き家・不用品回収整理、片づけ相談、就活 アドバイス、ハウスクリーニング・リフォーム事業	

支部地区	盛岡支部 第3地区	
氏名	浅沼 智之	
企業名	あさぬま土地家屋 調査士法人	
役職名	代表	
住所	盛岡市本宮一丁目 16-32	
T E L	019-636-0998	
F A X	019-636-0982	
事業概要	国家資格である土地家屋調査士として不動産 の登記のための調査、測量、申請手続等	

支部地区	県央支部 花北・遠野地区	
氏名	平野 正一郎	
企業名	(株)愛吹グループ	
役職名	代表取締役	
住所	花巻市東和町土沢 6区 113-4	
T E L	0198-42-2860	
F A X	0198-42-2866	
事業概要	塗装業、飲食業、イベント業	

支部地区	気仙支部	
氏名	大町 卓也	
企業名	(株)オオマチ住設	
住所	下閉伊郡山田町織笠 第14地割 60-18	
T E L	0193-82-5044	
事業概要	建設業(土木工事、建築工事、とび・ 土工工事、舗装工事、水道施設工事)	

ドイツからの風



池田憲昭氏

プロフィール
1972年長崎県生まれ
岩手大学人文社会科学部(ドイツ文化専攻)卒業、フライブルク大学森林環境学ディプロム課程(修士相当)卒業
フライブルク地域を拠点に、ドイツ環境視察セミナーのオーガナイザー、異文化マネージメントのトレーナー、企業サポーター、日独プロジェクトのコーディネーター、専門通訳、ジャーナリストとして活躍されています。2011年9月Arch Joint Vision社を設立 現代表。

日本でも、真にリベラルに、
民主的に、オープンエンドで
公共善エコノミーの発展を!

岩手県中小企業家同友会並
びに宮崎県中小企業家同友会
の結城さん、同会メンバーの
出版社「鉾脈社」の川口さん
と小崎さんをはじめ、クラウ

ドファンディングで支援いた
だいた方々など、多くの皆様
のバックアップのもと、『公
共善エコノミー』の翻訳作業
を遂行できました。2022
年12月なかばより、日本で出
版されています。
翻訳者として、たくさんの
方々からエネルギーを受け取
りました。いただいたエネル
ギーは、本やオンラインイベ
ントという形だけでなく、こ
れからの日本における公共善
エコノミーの発展を支援する
形でも、お返ししていきたい
と思います。
日本でも、公共善エコノミー
のパイオニア地域である欧州

公共善エコノミー

Christian Felber
クリスティアン・フェルバー 著

Noriaki Ikeda
池田憲昭 訳



「尊厳」「信頼」「協力」
もう一つの市場経済へ。

資本主義の市場経済システムの呪縛を超えて
市民と自治体主体の新しい市場経済をつくる道

クリスティアン・フェルバー 著 池田憲昭 訳 鉾脈社刊

鉾脈社刊 A5判並製本 280 ページカバー
定価 2,860 円 (税込)

や南米と同様に、フレデリック・ラルーの「ティール組織」のように、ボトムアップのパワーで複合的に、共感・共鳴を触媒として、公共善エコノミー運動が発展していくことをイメージしています。

研究室、著名人、そして草の根で支援するたくさんの市民による、多様で流動的な公共善エコノミーの世界的なコミュニティが、欧州と南米を中心にできています。

公共善エコノミーは、本の最後に書かれているように、どんな方でも、様々な切り口で参加できます。市民、専門家、監査士、学者・研究者、教育者、文化人、公共善大使として、企業、NPO、金融機関、教育機関、自治体として、関心がある人や団体が、様々なレベルやスケールで出

会い、共同し、一緒に発展させていくことができます。公共善エコノミーには、パイオニアたちがつくったプロトタイプがあるだけで、決まった設計図や運行表はありません。それぞれの地域や文化圏が、真にリベラルに民主的に、世界の仲間と交換交流しながら、オープンエンドに発展させていくのです。

過去12年の間で、3000以上の企業、複数の自治体や地域、金融機関、大学や学校、

また、私の個人ブログですが、Noteにて、公共善エコノミーについて思うこと、考えること、大切だと思うこと、出来事などを、徒然なるままに、翻訳作業の途中から書いています。これからも更新していきますので、よかったらフォローしてください。
<https://note.com/noriaki Ikeda/m/m13f063cc3f9>

私が大学時代を過ごし、愛着がある岩手でも、仲間が増えることを願っています。

素心知困

岩手同友会では現在、「支部地区活動の手引き」の発行へ向け、プロジェクトを組み取り組んでいます。▼同友会は組織経営を学ぶ場であるといわれています。その最初の一步として経営指針を成文化し、社員と共通のビジョンを持つことが何よりも大切であることを確認しています。▼「では会社でどう実践するの？」プロジェクトチームで話すなかで、気づくことが沢山あります。同じ文言でも、それぞれの価値観から見た解釈があり、納得がいかないまま進むことで、むしろ不満は逆のベクトルへと向いていきます。▼「組織をまとめてリードすることが社長の使命」と力が入っているときほど、同友会の支部地区の役員になることで、見えてくることがあります。▼役員会で他人の言葉が「社員はいつも、こんな風に感じているんだ」と聞こえてきたらしめたもの。「入り口を示して出口でニコニコ待つ」ほどの組織も同じ。支部活動に本気で関わると会社が変わると言われる所以（ゆえん）です。

■本紙掲載の例会や諸事業には、所属支部に関係なくどこにでも参加できます。ご連絡下さい。▼活用下さい。www.iwate.doyu.jp 例会や役員会などのカレンダーと事業案内を随時更新しています。▼本紙掲載事業への出入返信は、同封のファックス返信用紙またはedyuをご利用下さい。

ゆたかな幸せのために、より良い環境創りで真の循環型社会を目指します。

浄化槽保守点検 植物 食用品 廃棄物 浄化槽 BDFの製造・販売 エネルギー 浄化槽 BDF燃料

紫波環境株式会社

岩手県紫波郡紫波町南日詰字小路口70-1
TEL:019-672-2656 FAX:019-601-2686
http://shiwakankyo.com/

し尿・浄化槽汚泥収集運搬

Southern Iwate
DSG
サザン岩手ドライビングスクールグループ
Southern Iwate Driving School Group

陸前高田ドライビングスクール 三陸技能講習センター
RIKUZENTAKATA DRIVING SCHOOL Sanriku skill training center

平泉ドライビングスクール 遠野ドライビングスクール
HIRAIZUMI DRIVING SCHOOL TOHNO DRIVING SCHOOL

携帯サイトはこちら
http://www.si-dsg.com/mobile

人と自然にやさしい環境を創り地域型企業として貢献します。

岩手日化サービス株式会社
〒020-0402 盛岡市黒川 22-56
TEL 019-696-5611 FAX 696-5614

注文すると「明日」来る。オフィス・事務用品通販なら「アスクル」で

日用品 消耗品 文房具 飲料 工具

外出せずにFAX、Webにてご注文できます！
ご登録・お問い合わせは平金商店へお待ちしております。

<https://www.askul.co.jp/ag/hirakin/>

ASKUL AGENT 株式会社 平金商店
アスクルエージェント TEL:019-624-2121

物を大切にし環境にやさしくありがたい 使わない人から使いたい人へ
総合リユースショップ **Doki-Doki 2nd STREET**

(株)トータル・リユース
代表取締役社長 **伊瀬 幸郎**
ise yukiro

本社 〒026-0041 岩手県釜石市上中島町2-2-33
TEL:0193-21-2126 FAX:0193-21-2127
携帯 090-8780-3296
E-mail: trise@arion.ocn.ne.jp

オリジナルラベル
ワインを作成します

周年記念、御中元、お歳暮、ノベルティ等

SHIWA 紫波
自園自醸ワイン 紫波 社会ロゴ 写真OK 包装、のし無料 12本以上 作成料無料
岩手県紫波郡取蔵ぶどう 100%

お申し込み・お問い合わせ
Tel. 019-676-5301
自園自醸ワイン紫波 (株)紫波フルーツパーク
〒028-3535 岩手県紫波郡紫波町遠山字松原1-11

同友会役員へのテキスト <改訂版>
同友会運動の発展のために
同友会運動への理解を深める1冊

第1章 同友会理念について
第2章 同友会の活動と運営
(資料)
・中小企業における労使関係の見解 (労使見解)
・共同求人活動に対する同友会の考え方・留意点
・教育力のある企業をめざそう
・ともに次代を切りひらく-中小企業家同友会の事務局について

A4判64ページ。頒価600円
発行・中小企業家同友会全国協議会
各同友会事務局でお求めください。

めだか

有限会社いわてにつかコミュニティ企画
(事業内容) デイサービス / 生活介護 / 訪問介護 / 住宅型有料老人ホーム
児童デイサービス / 相談支援事業所 / 訪問看護 / 就労継続支援 B 型

DOYU
I W A T E
同友いわて
2023
Vol.167

発行 / 2023年3月1日発行
岩手県中小企業家同友会
広報委員会

〒0200878 岩手県盛岡市着町4-15 カガヤ着町ビル3F
TEL 019-626-4477 FAX 019-626-1644
Mail: info@iwate.doyu.jp